

## WEEKLY REPORT

### <RYLAセミナー参加報告②>

株式会社昭和精機 早坂 尚人 様



参加当日までは歩いて何がわかるのだろう。  
長時間歩くのが面倒くさいなと思っていたのが正直な気持です。しかし、実際に参加してみると様々なことを感じることも、気づく事が出来ました。

まず第一に集団行動の難しさ、相手の考えを尊重したりする大切さです。  
世の中には自分勝手に物事を進める人や、協力性の無い人もいます。ですが、そんな人でも見放すのではなく、打ち解け、ペースを合わせることも大事だと思いました。

第二に、縦の繋がりだけでなく、横の繋がりも大事だということ。

人は皆、プライベートに仕事、色々な人たちが協力し合い、助け合い生きています。災害時などにもそうです。人は一人では生きていけないし、いざという時周りが助けてくれます。  
そんな事を、今回改めて気付くことが出来ました。

第三に、日頃の運動不足を改めて実感しました。  
自分は高校生時代、陸上部の部長としてチーム全員をまとめ、他校の仲間達とも苦楽を共にし様々なことを乗り越えて来ました。  
しかしそれも、長い月日が経つと忘れてしまい、今回参加する前のような気持ちになってしまったのだと思います。

ですが、歩行ラリーに参加した事により今まで忘れていた事を思い出し、改めて実感し、人としてまた一歩成長できたと思います。

最後になりますが、今回歩行ラリーに参加させて下さった、社長に感謝したいと思います。

### <本日のニコニコ発表:崎谷延好委員>



野村 充 会員  
5クラブ対抗ゴルフ大会の盛会を祈願してニコニコします。宜しくお願いします。

社会奉仕基金3,000円 《会報編集委員》大川隆永・野澤新之助・高橋修・森谷充伯

Rotary  2018-2019年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

## 松戸北ロータリークラブ会報



インスピレーションになろう

「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第2244回 例会 2019年3月20日(水)

- |                  |         |           |                                       |
|------------------|---------|-----------|---------------------------------------|
| ■国際ロータリー会長       | バリー・ラシン | ■例会日      | 毎週水曜日12:30より(第1例会18:30)               |
| ■第2790地区ガバナー     | 橋岡久太郎   | ■例会場      | 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」                       |
| ■第13G アシスタントガバナー | 野村 充    | ■事務所      | 松戸市八ヶ崎1-11-13 カライズ'ハイツ101             |
| ■松戸北ロータリークラブ会長   | 高橋 一彦   | ■TEL/FAX  | 047-711-5950 / 047-711-5910           |
| ■松戸北ロータリークラブ幹事   | 小澤 直之   | ■Web/Mail | www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |

## WEEKLY REPORT

### <第2244回 例会プログラム>

司会 柳 孝実

12:30	点鐘	高橋一彦 会長
	ロータリーソング斉唱	
12:35	会食	
13:00	会長挨拶・ 幹事報告	高橋一彦 会長 小澤直之 幹事
13:05	RYLAセミナー参加報告	
13:25	社会奉仕基金発表 ニコニコ発表	社会奉仕委員会 ニコニコ委員会 大塚精一 委員長 沖 昌彦 委員 高橋一彦 会長
13:30	点鐘	



### <クラブ会長挨拶:高橋一彦会長>

先日、朝日新聞の天声人語の内容が気になりましたので、既にお読みの方には恐縮ですが紹介をさせていただきます。

奈良県にありますお寺の住職が立ち上げました「NPO・おてらおやつクラブ」の活動です。

6年前に大阪で、子供に満足な食事を提供できずに20代の母が3歳の息子と共に亡くなったと言う事件があったそうでございます。その時に冷蔵庫に残されていた食べ物は食塩のみであったとの記載もされておりました。この事件に衝撃を受けた住職が、日本にもまだこのような環境が存在するのかと、お寺にあったお供えの菓子類を箱に詰め、大阪市内にある子育て支援NPOを訪れた事がきっかけとなり、その後「おてらおやつクラブ」の立ち上げに繋がったそうでございます。

当初は紹介された家庭にお供え物を月ごとに送る事から始まり、そこから、世の中から孤立し困窮している家庭が大変に多い事に気付かされ、知り合いの住職に余っているお供え物がありましたら送ってくださいとの協力依頼から始まったと有ります。

その後は「おてらおやつクラブ」として、宗派を超えた110余りのお寺からの協力を得て、現在では毎月1万人の子供達におやつが届けられているそうです。

お供え、お下がり、お裾分け、お寺に届けられた「人々の善意」が子供達に届けられる大変に素晴らしい行動であり活動ではないでしょうか。

最近も家庭事情や家庭環境より食事時間が定まらない事や、子供だけで食事をせざるを得ない子供達の為に「子供食堂」として各地への展開が増えて来ている現状を耳にします。

いろいろな考えや提供の方法もあるでしょうが現在の社会において子供達の精神面や教育を考えると必要な要素も絡んでいるのは感じ得られます。

先般も当クラブ奉仕活動について会員皆様からも多くの提案を頂き、この案件の提示もなされたと思えます。まだ当クラブでは提案の1つですが、いずれにしろ良く考え、良く調べる事が最初の一步と感じますので、その他の提案も含み査収への理解とお力添えを頂くことを会員皆様お願い申し上げ本日の挨拶とさせていただきます。



## WEEKLY REPORT

### <幹事報告:小澤直之幹事>

■例会変更のお知らせ

松戸ロータリークラブ

2019年4月10日(火)「健康診断例会」へ変更

場所:島村トータルケア・クリニック 12:30点鐘



### <RYLAセミナー参加報告①>

千葉興業銀行小金支店 大橋様

この度はRYLAセミナーに参加させていただきましてありがとうございました。

2日間通してロータリアンの方や青少年の方とコマ図通りに進んでゴールを目指す歩行ラリーというものを行いました。最初は歩行ラリーがあまり想像出来ず、容易にゴールできるだろうと考えていました。

しかし、1日目の歩行ラリーが始まってみるとコマ図の難しさに大苦戦してしまいました。最初からコースを間違ってしまう大幅に時間をロスしゴールすることが出来ませんでした。1日目は全グループがゴール出来ない結果となってしまいました。

1日目の歩行ラリー終了後はグループで集まり情報共有を行いました。するとコマ図の中に出てくる細かい記号全てに意味があり、ヒントになっていることに気が付きました。また、何となくこの道だろうと進むのではなく、コマ図通りの道か確認してから歩くことを共有しました。1日目に通ったコースを実際に通って答えあわせをする際には「こんなところに記号があるのか」と思うことや「こんなところを通るのが正解なのか」と自分の常識を覆すようなことがあり、自分の考えの甘さを反省しました。

2日目の歩行ラリーでは前日の反省を生かして細かい記号にも気を配り1つ1つ確認しながら道を進んでいきました。すると正しいコースをきちんと回ることができゴールすることが出来ました。ゴール出来たときの喜びは忘れられません。

この2日間を通して様々なロータリアンの方や青少年の方と交流することができました。最初は緊張して中々話すことが出来ませんでした。最後には皆仲良くなっていました。また、自分の職業とは違う同年代の方々と一緒に行動するということが普段なく、そういったことができたのも大きな経験になりました。

このRYLAセミナーで経験したこと、学んだことを普段の生活に生かしていかなければならないと思いました。このような貴重な機会を与えてくださり本当に感謝しております。

ありがとうございました。

